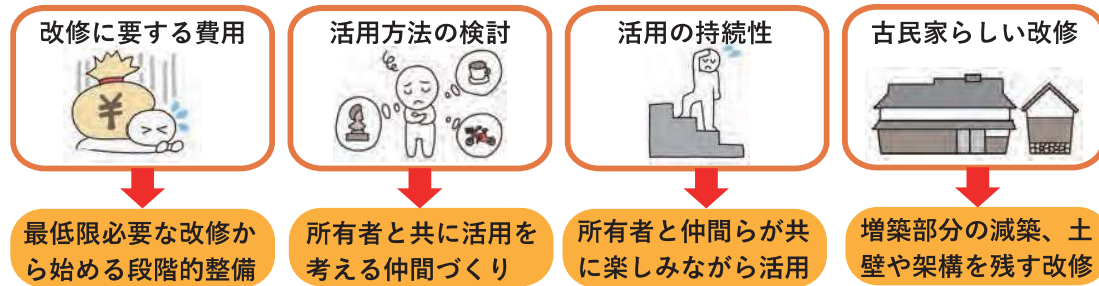
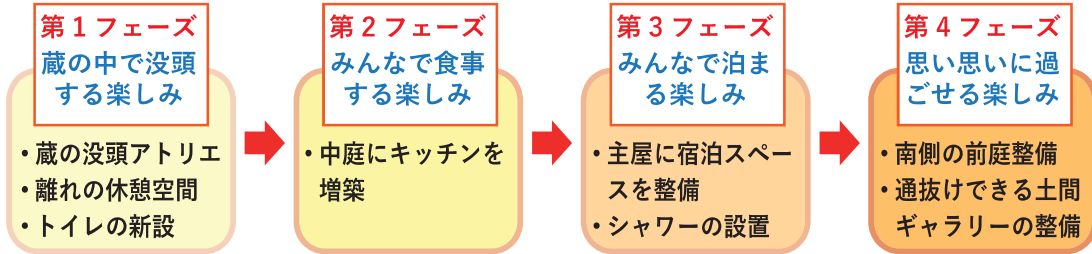


■古民家活用の課題：所有者の心理的負担を軽減できる活用方法の提案



■ MIKI BASE をより楽しむための段階的整備シナリオ

- 本提案では三木家住宅を「**MIKI BASE**」と名付けます。BASEには、「活動が始まる拠点」という意味があり、ここから様々な活動が生まれていく4段階のシナリオを提案します。
- 第1フェーズでは、趣味やものづくりに**蔵で没頭できるアトリエ**を週末限定で開設します。利用者は、「**MIKI CLUB**」という会費制クラブに加入し、週末にこの場所に通います。仲間が増え会費収入が目標額に達すると、次フェーズに進めます。
- 次フェーズに進むと、**会員自身がよりこの場所を楽しむことができるため、メンバーによる会員勧誘や、DIY改修を期待できます。**



■社会課題の解決につながる古民家活用：自由に選択できる居場所の提案

孤独・孤立の予防等、**居場所づくり**は重要な社会課題です。第2フェーズ以降は、没頭アトリエだけでなく、地域住民が気軽に立ち寄ることのできる場所や、静かに読書ができる場所、誘いあって会話ができる場所等、目的の異なる居場所を段階的に増やすことで、**MIKI BASE**が様々な人々の居場所となることを目指します。



第1フェーズ：没頭アトリエの開設
—蔵の中で没頭する楽しみ—

①蔵を活用したアトリエの開設

- 蔵の中で、**日常から離れて、ものづくりに没頭できるアトリエ**を開設します。会費は8千円/月、専用ロッカー付は1万円/月と想定しています。
- 会費収入は、次のフェーズの改修資金にもなるので、会費を支払うことは、ここでの楽しみを増やすための投資にもなります。
- 坂越駅から徒歩圏であることから、**神戸・姫路からもアトリエの利用希望者を見込めると考えます。**

②昼食を一緒に食べるというルール

- 昼食を一緒に食べることをルール**とし、個々の作業に没頭するだけでなく、仲間づくりも進めます。仲間と過ごすのが楽しみになり、**繰り返し訪問することを期待**します。

■第1フェーズの改修内容

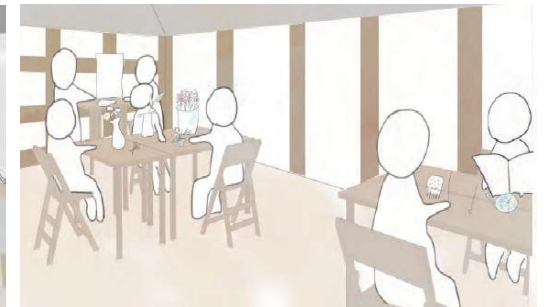
- 蔵と自転車置場を整備する
- 既存台所とUBを減築する
- 中庭にトイレを新設する



■作業に没頭できるアトリエ



■メンバーと会話できるアトリエ



第2フェーズ：みんなのキッチンの増築 —みんなで食事する楽しみ—

■第2フェーズの改修内容

- ・中庭にキッチンスペースを増築する

① MIKI CLUBのメンバーで昼食をつくるために、キッチンスペースを増築する

- ・第1フェーズでは、メンバーが持ってきた食べ物を一緒に集まって食べるだけでしたが、**第2フェーズからは、より楽しく食事をするために、みんなで料理をして食べるようにします。**
- ・そのため、ユニットバスを除却した場所に、**キッチンスペースを増築**します。キッチンスペースの改修資金については、第1フェーズで集まった会費収入を充てます。

②キッチンスペースを活用するために、おにぎり喫茶を開店する

- ・平日はキッチンスペースをメンバーが使用しないため、平日に2日程度、午前9時～午後2時まで、**所有者がおにぎり喫茶の営業と、おにぎりのテイクアウト販売を始めることを提案**します。
- ・三木家住宅は年貢米を一旦集積する庄屋であったことから、米を使うおにぎり喫茶を提案します。

③ MIKI CLUBのメンバーと地域住民の交流機会をつくる

- ・月に1回、**中庭で地域住民と一緒におにぎりを作って食べる交流会**を開催します。
- ・おにぎりは誰にでも作りやすく、一緒に作りながらコミュニケーションが生まれやすいと考えます。

MIKIBASEで喫茶始めました

MIKIBASE おにぎり喫茶

本に囲まれた
表紙空間で
美味しい朝ごはんを



テイクアウトもごさいます!

おにぎりメニュー (無くなり次第終了)	
定食メニュー (1日8食限定)	単品メニュー
おにぎり定食 600円 (日替わりおにぎり 味噌汁・緑茶)	・しゃけおにぎり 250円
	・梅おにぎり 250円
	・良布おにぎり 250円
	・コーヒー 200円

営業日 水・木
土・日 (テイクアウトのみ)

営業時間 午前9時～午後2時

TEL 000-0000-0000

MIKIBASE おにぎり喫茶
〒000000
女座県赤穂市海市000
坂越駅から歩いて12分

メンバー
①で昼食を
つくる

- ・毎月2回は、一緒に食事をつくる
- ・MIKI CLUBメンバーを対象にする

おにぎり
②喫茶を開
店する

- ・平日に週2回、喫茶を営業する
- ・地域住民を対象に営業する

地域との
③交流会を
開催する

- ・毎月1回は、交流会を開催する
- ・MIKI CLUBのメンバー・地域住民を対象とする

■休憩時には、離れの空間で読書や会話ができる



■会話をしやすい「みんなのキッチン」



第3フェーズ：宿泊スペースの開設 —みんなで泊まる楽しみ—

■第3フェーズの改修内容

- シャワーブースを新設する
- 主屋の畳を入れ替える
- 中庭に屋外デッキを新設する
- レンタサイクル事業用の自転車を追加購入する

①MIKI CLUB メンバーでの宿泊利用

- 神戸・姫路からの利用者にとって、日帰りで土日の両日通うことが難しいため、**メンバーに限定し、自分たちが泊まるためのスペースを整備**します。
- 宿泊しながら作業ができることで、**より没頭して過ごせるだけでなく、メンバー間での交流機会も増えます。**
- 宿泊する場所は、主屋の1階とし、畳の入れ替え等を行います。開口部の補修等を十分にしていないため、夏・冬以外の中間期にのみ宿泊します。
- 早期からこの場所で過ごすことができるため、レンタサイクルを使い、**千種川沿いを巡るサイクリング**をするなど地域の魅力に気づく機会が増えます。

②中庭を「にぎわいの庭」として整備

- 中庭で滞留がしやすくなるように、離れとキッチンをつなぐ**屋外デッキを整備**します。
- アトリエでの作業に没頭した後や、**レンタサイクルの返却後の休憩・交流場所**として活用します。
- 主屋と離れが、屋外デッキによって同じ床レベルでつながるので、**主屋と離れを移動しやすくなります。**

■「にぎわいの庭」の屋外デッキ



■早期の千種川サイクリング



神戸市在住の会社員（30代・男性） 小説を書くため、第1フェーズから利用

- 平日は神戸市内で会社員として働いている。**小説家になる**という夢を持ち続け、第1フェーズから、毎週日曜日に没頭アトリエで小説を書いている。
- 第3フェーズからは、**土日は泊まり込み**で小説を書いている。メンバーとの**早期サイクリング**は楽しみになっており、息抜きに、おにぎり喫茶にも立ち寄る。
- 神戸では地域との関わり等はないが、MIKIBASEでは、メンバーや、地域住民との交流もあるため、**将来的には、坂越に移住**することも考えている。



近隣地域の住民（60代・女性） 喫茶を利用するため、第2フェーズから利用

- 第2フェーズに**喫茶が開店**してから、**週に2回通っている**。第3フェーズになり、MIKICLUBのメンバーが宿泊していることで、メンバーとの交流機会が増えた。メンバーと交流するなかで、**ものづくりに関心をもつ**ようになり、編み物を始めることになった。
- 地域の子どもたちと関わる機会がなかったが、「**ものづくりの楽しさを地域の子どもたちに伝えたい**」と思うようになり、週に1回、地域の子供たちに**編み物を教**えている。



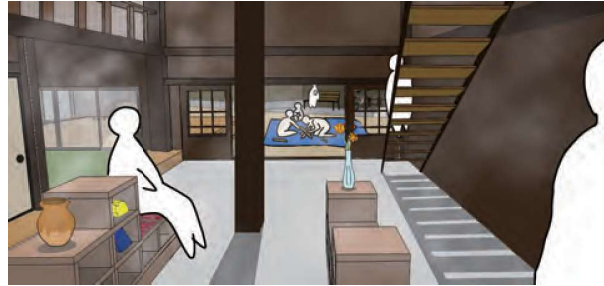
第4フェーズ：ギャラリースペースと前庭の改修ー 思い思いに過ごせる楽しみー

■第4フェーズの改修内容

- ・ 通り抜け土間を整備する
- ・ 前庭を安らぎの庭として整備する
- ・ 主屋2階に資料館を整備する
- ・ 耐震改修工事をする

①耐震改修と通り抜け土間の整備

- ・ 兵庫県の古民家再生促進支援事業により、耐震改修を実施します。
- ・ 耐震改修にあわせて、既存玄関部を**通り抜けのできる土間ギャラリー**、主屋の2階を**建物や地域の資料館**として整備します。
- ・ 土間ギャラリーでは、アトリエで制作された作品を展示する他、観光情報の提供や、MIKI CLUBの募集案内をします。
- ・ 土間ギャラリーを抜けるとにぎわいのある中庭があり、**散歩時の通り抜け空間**としても利用できます。



②前庭をやすらぎの庭として整備

- ・ にぎわいのある中庭に対して、**前庭は静かに過ごせる庭**として整備します。
- ・ 日本庭園を左手に見ながら石畳の上を歩くと、土間ギャラリーが見えます。
- ・ 日本庭園の他、木々の合間で一息つける庭があり、タープ下のハンモックに腰掛けての読書や、自作の椅子に座ってゆったりと過ごせます。
- ・ 15時までは、主屋の宿泊スペースを、**庭園をみながら過ごすことのできる喫茶の客席**として活用します。



4つのフェーズにおける提案の視点

第1フェーズ：没頭アトリエの開設

①実現性

【段階的な改修】
まずは蔵をアトリエに改修し、台所とUBの減築を行います。

①実現性

【会員の集め方】
西播磨で盛んなフリーマーケット等でチラシ配布や勧誘をします。

②持続性

【仲間と過ごす楽しみ】
昼食を一緒に食べるというルールによって親睦を深めます。



第2フェーズ：みんなのキッチン増築

①実現性

【段階的な改修】
会費収入を活用し、新たにキッチンスペースを増築します。

②持続性

【メンバー同士の交流】
毎月2回、みんなで一緒に昼食づくりを楽しみます。

③地域との関係性

【地域住民との交流】
おにぎり喫茶の営業、月1回の地域住民との交流会を行います。



第3フェーズ：宿泊スペースの整備

①実現性

【段階的な改修】
会費収入を活用し、宿泊スペースの整備、デッキを新設します。

②持続性

【メンバー同士の交流】
MIKI BASEでのお泊り会を通じて、交流機会がより増えます。

③地域との関係性

【地域住民との交流】
手芸教室を開くなどアトリエでの活動が地域貢献に繋がります。



第4フェーズ：ギャラリースペース改修・前庭の整備

①実現性

【段階的な改修】
会費収入を活用し、主屋の耐震改修工事、前庭整備を行います。

④観光拠点としての有効性

【駅から徒歩の距離】
庭園を望む喫茶店、観光情報、レンタルサイクルを提供します。

⑤発展性

【地域の居場所】
地域住民の憩いの場として使われ、賑やかな空間になります。

第5フェーズ以降では、三木家住宅が坂越の新たな観光の拠点となることを目指し、兵庫県の空家活用特区制度などにより、主屋の宿泊スペースで民泊事業をすること等を想定しています。